

とちぎの子どもの「確かな学力」向上のために

授業改善プラン

— 小学校国語科（話すこと・聞くこと） —

令和2（2020）年3月

栃木県教育委員会

「話すこと・聞くこと」

これまでの全国学力・学習状況調査結果から、「話すこと・聞くこと」の領域において、「目的や意図に応じて、スピーチメモと友達の助言を基に、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと」、「目的に応じて、質問を工夫すること」、「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること」などに課題があることが分かってきました。このことは、本県においても同様であり、出題の趣旨と学習指導要領における領域・内容を確認の上、学習指導の改善・充実に取り組む必要があります。

そこで、本資料では、「話すこと・聞くこと」に関する平成29～31年度の調査問題を取り上げ、関連する教科書の単元を例に授業改善のポイントを提案します。

目 次

- 1 (1) 平成29年度全国学力・学習状況調査 国語B [1] について
「スピーチの練習をする（「折り紙」の紹介）」 …… P.2～4
- (2) 単元計画（例） …… P.5
- (3) 授業改善のポイントについて
◇例示などを基に「話し方のポイント」を考える活動を通して、話の内容や構成を工夫することの大切さに気付かせましょう。 …… P.6
◇「話し方のポイント」を基に助言し合う際の観点を考えさせることで、話の内容や構成、伝え方への意識を高めましょう。 …… P.7
- 2 (1) 平成31年度全国学力・学習状況調査 国語 [3] について
「地域で活躍する人を紹介する（豊職人へのインタビュー）」 …… P.8～12
- (2) 単元計画（例） …… P.13
- (3) 授業改善のポイントについて
◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図を明確にすることで、主体的にインタビューに臨むことができるようにしましょう。 …… P.14
◇話の展開に沿って、話の内容を十分に聞き取るには、どのような聞き方をすればよいかを考えさせましょう。 …… P.15
- 3 (1) 平成30年度全国学力・学習状況調査 国語B [1] について
「言葉の使い方を見直すために、話し合う」 …… P.16～18
- (2) 単元計画（例） …… P.19
- (3) 授業改善のポイントについて
◇話し合いの計画を基に「話し合いの進め方」を考える際に、話し合いの目的や方向性についても検討させるようにしましょう。 …… P.20
◇話し合いの例示を活用して考えさせることで、互いの立場や意図を明確にしながらか話し合いに参加できるようにしましょう。 …… P.21

「スピーチの練習をする」「折り紙」の紹介」

1 石田さんは、日本語を学んでいる外国の人たちに、「折り紙」について紹介するスピーチをするため、友達に助言してもらいながら練習しています。次は、「スピーチメモ」、「スピーチの練習の様子」、「グループの話し合いの様子」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【スピーチメモ】

- 1 折り紙とは（紙を折って、いろいろな形を作る遊び）
- 2 自分の経験（実際に「つる」を見せる）
- 3 折り紙の例（「風船」「紙飛行機」「手裏剣」など）
- 4 折り紙のみりよくとは
（色やもようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作るができること）
- 5 まとめ
（体験コーナーのしょうかい）



【スピーチの練習の様子】（動画で記録したもの）

私は、小さいころにおばあちゃんに教えてもらった「つる」を折るのが得意です。これは、私が折った「つる」です。

他にも、「風船」、「紙飛行機」などを作ることができます。友達と一緒に作ると楽しいです。

折り紙のみりよくは、色やもようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができます。私は思います。

このあとの体験コーナーで作り方を教えますので、みなさんも、ぜひ一緒に作って楽しんでください。これで、折り紙の紹介を終わります。

【グループの話し合いの様子】

北川 石田さんのスピーチ、よかったね。
 上野 表情がとも明るくて、折り紙のことを伝えたいっていう気持ち伝わってきたよ。
 北川 実物の「つる」を見せているのも、分かりやすかったね。それと、今回スピーチメモを使ってみてどうだったかな。
 上野 スピーチメモを使って話のまとまりと順序を意識して話すことはできたかな。
 石田 うん、できていたと思うよ。それに、必要なときにだけメモを見ればよかったから、相手の反応を見て話すこともできたと思う。
 北川 確かにできていたね。他に気をつけたいことはあるかな。
 石田 全体的に早口になってるように思うので、そこを直したいな。
 北川 そうだったかな。動画を見てみよう。

（動画を見る）

上野 そうだね。日本語を勉強している外国の人にとっては早口かもしれないね。
 北川 それから、石田さんが一番伝えたいことが伝わるかどうかが大事だよな。
 石田 私は、折り紙のみりよくを一番伝えたいな。
 上野 それなら、折り紙のみりよくをもっとたくさん伝えた方がいいんじゃないかな。
 北川 折り紙のみりよくは、どこでも手軽にできることだと思うよ。
 上野 ぼくは、紙一枚から立体的な形ができるということがみりよくだと思うな。
 北川 「手裏剣」のように、組み合わせさせて形をつなげられることもみりよくだね。
 石田 折り紙のみりよくはいろいろあるんだね。みんなの意見を参考にして、もう一度考えてみるね。

一 石田さんのグループは、「グループの話し合いの様子」の [] において、どのような目的で動画を見えていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 調べて分かったことをいくつか伝えていくか、整理するため。
- 2 よい点を多く見つけて、他の人の参考にもしてもらうため。
- 3 相手に応じた話し方の改善点について、確かめるため。
- 4 姿勢や表情に気をつけて話していたか、ふり返るため。

出題の趣旨 動画を見る目的を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話す。

二 石田さんたちは、グループの話し合いの中で、スピーチメモを使うことについてどのようなよさがあると考えていますか。【グループの話し合いの様子】の言葉を使って、四十字以内で書きましょう。

出題の趣旨 話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉える。

（正答例）
 ・話のまとまりと順序を意識して話したり、相手の反応を見たり話したりする（よ）が（わ）か（る）ね。
 （四十字）

40字

	栃木県	全国
正答率	68.4%	69.2%
無解答率	3.7%	3.8%

	栃木県	全国
正答率	77.6%	77.2%
無解答率	0.3%	0.5%

学習指導要領における領域・内容
 【第5学年及び第6学年】

A 話すこと・聞くこと イ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。

三 石田さんは、友達の助言を受け、「スピーチの練習の様子」の中の④について、もう一度考えています。石田さんは、どのように話すと思いますか。その内容を、次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

- 折り紙のみりよくについて、「スピーチメモ」と「グループの話し合いの様子」で出された意見から、それぞれ取り上げて書くこと。
- スピーチとしてふさわしい言葉づかいにすること。
- 書き出しの言葉に続けて、八十文字以上、百字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

出題の趣旨 目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す。

(正答例)

・ (折り紙のみりよくは、) 色やもようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができたり、紙一まいから立体的な形ができて、組み合わせると、わたしは思います。(九十二字)

・ (折り紙のみりよくは、) 色やもようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができたり、どこでも手軽にできることです。他にも、自分で作り方をくふうできることなども、みりよくだと思います。(九十五字)

	栃木県	全国
正答率	49.3%	48.4%
無解答率	2.3%	2.6%

100字 80字

学習指導要領における領域・内容
〔第5学年及び第6学年〕

- A 話すこと・聞くこと イ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。
- B 書くこと ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

1(2) 単元計画（例）

ここでは、光村図書と東京書籍の関連する単元計画の例を基に、本資料の関連するページ（※）を示しましたので、各学校における指導計画に照らして活用してください。

「提案しよう、言葉とわたしたち」 光村図書 5年

事実と感想、意見とを区別して、説得力のある提案をしよう。

（教科書P.211）

- 1 学習の見通しをもつ。
- 2 提案したいことを決める。
- 3 目的に応じて根拠となる情報を集める。
- 4 スピーチの内容や構成を考えて、スピーチメモと提案する資料を作る。
- 5 スピーチの練習を行う。
- 6 スピーチの会を行う。
- 7 スピーチを聞き合って、感じたことを伝え合う。
- 8 学習を振り返る。

（※）



P. 6



P. 7

「『国語 五 銀河』年間指導計画例（光村図書）」〔令和元（2019）年10月更新〕を基に作成

「伝えたい、心に残る言葉」 東京書籍 5年

目的や意図に応じて、話の構成や表現を工夫して、伝えたいことが印象に残るように話そう。
（教科書P.158）

つかむ

- 1 これまでに学習したことを振り返って、伝えたいことが印象に残るように話すという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。

取り組む

- 2 心に残っている言葉を思い起こし、伝えたい言葉を決め、話すための材料を集める。
- 3 伝えたいことが印象に残るように、話の構成を考えて、話す練習をする。
- 4 みんなの前で話す。

振り返る

- 5 話の構成や表現をどのように工夫して話したかを振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。

（※）



P. 6

P. 7

「『新しい国語 五』年間指導計画作成資料（東京書籍）」〔令和2（2020）年2月更新〕を基に作成

◇「話し方のポイント」を基に助言し合う際の観点を考えさせることで、話の内容や構成、伝え方への意識を高めましょう。

友達のスピーチを聞き合い、助言し合う活動を行う際に、「大きな声で話していた」や「顔をあげて聞く人の方を見ながら話していた」など、話の伝え方だけに着目し、児童が伝え合っていることがあります。しかし、話の伝え方だけでなく、話の内容や構成についても助言させることが大切です。

指導に当たっては、「話し方のポイント」（前ページ参照）を活用するなど、学習したことを基にスピーチを聞くときの観点を考えさせることで、よりの確な助言ができるようになると考えられます。

【学習活動の例】

「話し方のポイント」を基に、スピーチを聞いて助言し合う際の観点を確認する。

「提案しよう、言葉とわたしたち」光村図書 5年



これから、友達のスピーチを聞いて、気付いたことを伝え合います。スピーチを聞くときには、どのようなことに注目するとよいでしょう。

「相手が聞きやすい声の大きさと話しているか」や「顔を上げて、聞く人の方を見ながら話しているか」など、話の伝え方に注目して聞くとよいと思います。



なるほど。でも、話の伝え方だけに注目すればよいのでしょうか。前の時間にみんなで考えた「話し方のポイント」を参考にしてみてもいいですか。

「話の内容や構成をどのように工夫しているか」や「スピーチのメモを使ってどのように話しているか」などにも注目して聞くとよいと思います。



スピーチを聞くときは、話の伝え方だけでなく、話の内容や構成の工夫、メモを使った話し方などにも注目して聞くことが大切なのですね。

では、次は、聞いたことを基に、友達にどのようにアドバイスしたらよいかを、みんなで考えてみましょう。

※ スピーチを聞き合い、助言し合う際の観点を確認する活動では、右の図のように、児童の気づきを基に観点を整理することも考えられます。

スピーチを聞くときに
気を付けること

- 話の伝え方について
- メモを使った話し方について
- 話の内容や構成について
- [] について

スピーチを聞くときに気を付けることをまとめた板書の例

【留意点】

話の伝え方について助言させる際は、声量や速度、抑揚や間の取り方、改まった言葉や丁寧な言葉、敬体と常体との使い分けなど、その場に応じた最も適切な表現の仕方では話せたかなど、これまで学習してきたことなどと結び付けて具体的に伝えさせるようにします。

また、話の内容や構成について助言させる際は、根拠として提示した資料が、考えを分かりやすく伝えるための資料として有効であったか、という視点からも伝えさせることが大切です。

「地域で活躍する人を紹介する（畳職人へのインタビュー）」

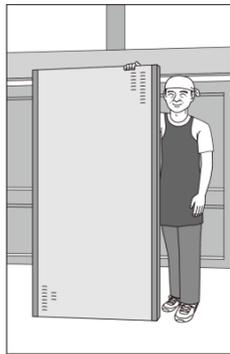
3

岸さんは、町の広報誌こうほうしに取り上げられていた畳職人たたみしよじんの大谷さんを、学級の友達に紹介しょうかいするために、大谷さんにインタビューをすることにしました。次は、【広報誌の記事】、【直接聞いてみたいこと】、【インタビューの様子】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【広報誌の記事】

店主の大谷進おわたすすむさんは、十八歳じゅうはっさいのころに地元で畳店を営む親方のもとへ弟子入りし、三十歳で自分の店をもった。代々受け継つがれてきた畳作りの伝統わだかの技を五十年間守り続けている。

部屋の床ゆかにすき間も段差だんさもなくぴたりとおさまる畳を作らせたなら、大谷さんの右に出る者がいない。通常、部屋に畳をおさめるときにはわずかな段差などが出るため、その場で調整することが多い。しかし、大谷さんの手にかかれば、そのような調整を一切いっさいせずにぴたりとおさめることができる。



大谷さんの仕上げた畳

「私わたしにとって、畳はとても魅力的みりょくてきなものです。だからこそ、五十年間も職人を続けることができたのです」と大谷さんは話す。

【直接聞いてみたいこと】

・大谷さんはどのような思いや考えをもって、たたみ職人を五十年間続けてきたのだろうか。

・大谷さんが話しているたたみのみりよくとは何だろうか。

岸さん 大谷さんが達人として紹介されている、町の広報誌の記事を読みました。今日は、大谷さんの仕事への思いや考えなどをお聞きしたいと思います。よろしく願いします。

大谷さん こちらこそ、よろしく願います。

岸さん では、早速ですが、広報誌で大谷さんは、「私にとって、置はともみりよくてきなものですよ」とおっしゃってましたよね。どのようなところにみりよくがあると思われますか。

大谷さん 私の店の置について言えば、全て一点物だということです。私は、機械を使わずに、細部までくふうして一枚ずつ手作業で仕上げています。ですから、完成した置は同じように見えても、それぞれに個性があるのです。そこが私にとっての一番のみりよくですかね。

岸さん そうなのですね。それはつまり、

ア

大谷さん そうですね。部屋の大きさに合わせたり、お客様の希望や要望に応えたりするのは、職人としての腕の見せどころですからね。

岸さん 職人としての腕をみがぐために、どのようなことを親方から教わったのですか。

大谷さん 親方から直接教わったことはほとんどありません。

岸さん では、どのようにして腕をみがいたのですか。

大谷さん 置を作る技術やお客様への接し方は、とにかく親方の仕事ぶりをよく見ていました。

岸さん 大谷さんは、親方の姿をよく見て技術や接し方を身につけたのですね。

大谷さん いやいや、見るだけでは身につけられません。「習うより慣れよ」ということわざにもあるとおり、実際に自分でやってみることを何度もくり返すのです。私はとても不器用なので大変さはありましたが、何とか親方のようになりたいと思いつつながら、修業をしていました。

岸さん そのような思いをもっていたのですね。大谷さんは、他に、どのような思いや考えをもって、五十年間仕事を続けてきたのですか。

大谷さん 思いや考えですか。なかなか難しい質問ですね。

岸さん すみません。では、五十年間仕事を続けてきた中で大切にしてきたことや心構えはありますか。

大谷さん そうですね。五十年も職人をしていますが、いまだに完ぺきだと思える仕上がりはありません。だからこそ、自分が一人前になったと思わず、次こそはもっとよいものを作ろうと挑戦し続けるのです。これが、ずっと大切にしてきたことですかね。

岸さん お話を聞いて、大谷さんの仕事への思いや考えが分かりました。特に、

イ

またぜひお話を聞かせてください。今日は本当にありがとうございました。

一 「インタビュアーの様子」の **ア** で、岸さんは、自分の理解が正しいかどうかを確認しようと思いい、質問をしています。その質問として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 十八歳から五十年間も、置職人という仕事を続けることができたということでしょうか。
- 2 機械を使って一度にたくさん作るので、より多くの人を使うことができるということでしょうか。
- 3 最近作られた量の中で、特にくふうして仕上げたものにはどのようなものがあるのでしょうか。
- 4 細部までいいねいに手作業で作るので、一枚も同じものはないということでしょうか。

出題の趣旨 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする。

二 「インタビュアーの様子」の **イ** で、岸さんは、——部のようにくふうして質問をしています。そのくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 相手の思いをさらに引き出すために、相手がくり返し発言した言葉を用いながら質問をしている。
- 2 相手に質問をする理由を理解してもらえようように、インタビュアーの目的を伝えてから質問をしている。
- 3 相手が答えやすいように、自分が知りたいことについて言葉をかえてもう一度質問をしている。
- 4 相手の話の中に分からない言葉があったため、その言葉の意味を確かめる質問をしている。

出題の趣旨 目的に応じて、質問を工夫する。

三 岸さんは、インタビュアーの最後に、大谷さんの仕事への思いや考えに着目して、特に心に残ったことを伝えようとしています。「インタビュアーの様子」の **イ** に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 「インタビュアーの様子」の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。
- インタビュアーとしてふさわしい言葉づかいにすること。
- 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内にとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

出題の趣旨 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
 ※◆の印から書きましょう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましょう。

(正答例)

- ・ (特に、) 自分が一人前になったと思わず、次こそはもつとよいものを作ろうと、ちよう戦し続けているところが心に残りました。(五十七字)
- ・ (特に、) 実際に自分でやってみることを何度もくり返し、何とか親方のようになるうと修行をしていたところが印象に残りました。(五十八字)

	栃木県	全国
正答率	69.1%	68.2%
無解答率	12.3%	14.2%

	栃木県	全国
正答率	67.4%	67.4%
無解答率	2.8%	4.2%

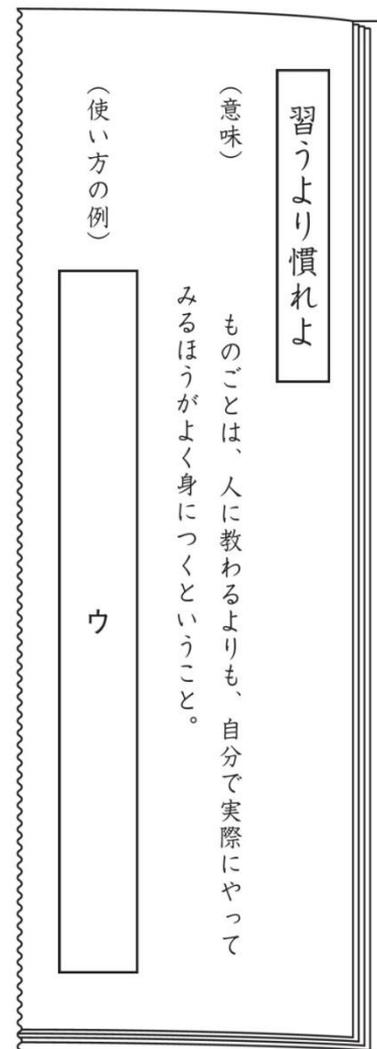
	栃木県	全国
正答率	81.2%	81.3%
無解答率	2.1%	3.4%

学習指導要領における領域・内容
 (第5学年及び第6学年)

A 話すこと・聞くこと 工 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。

四 岸さんは、「インタビュウの様子」の中の「習うより慣れよ」ということわざの意味を調べて、ノートにまとめています。次の【ノートの一部】の ウ に入る例として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【ノートの一部】



- 1 何度も乗って練習すれば、自転車にうまく乗れるようになるよ。習うより慣れよだよ。
- 2 どんな所でも、住み慣れればよい所だと思おうようになるよ。習うより慣れよだよ。
- 3 新しいくつは最初のはきごちが悪いけれど、数日はくと足になじむよ。習うより慣れよだよ。
- 4 一生けん命がんばったから、あれこれ考えず気長に結果を待とうよ。習うより慣れよだよ。

出題の趣旨 ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる。

	栃木県	全国
正答率	74.2%	73.0%
無解答率	5.6%	7.9%

学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) ア 伝統的な言語文化に関する事項 (イ) 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。

2(2) 単元計画（例）

ここでは、光村図書と東京書籍の関連する単元計画の例を基に、本資料の関連するページ（※）を示しましたので、各学校における指導計画に照らして活用してください。

「きいて、きいて、きいてみよう」 光村図書 5年

話の意図を考えてきき合い、「きくこと」について考えよう。

（教科書P.38）

- 1 学習の見通しをもつ。
- 2 友達にきいてみたいことを挙げ、話題を絞る。
- 3 インタビュー用のメモを作る。
- 4 活動のしかたや気をつける点を確認する。
- 5 交代でインタビューをし合う。
- 6 記録したメモをもとに報告の準備をする。
- 7 記録者が、インタビューの内容について報告を行い、気づいたことを伝え合う。
- 8 「きくこと」について考え、学習を振り返る。
- 9 学習を振り返る。

（※）

P.14

P.15

「『国語 五 銀河』年間指導計画例（光村図書）」〔令和元（2019）年10月更新〕を基に作成

「知りたいことを聞き出そう」 東京書籍 5年

自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉えながら聞き、自分の考えをまとめよう。

（教科書P.46）

つかむ

- 1 これまでに学習したことを振り返って、意図を明確にして聞くという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。

取り組む

- 2 インタビューをするときに気を付けることを確認する。
- 3 話を聞く意図や目的を確認し、インタビューで聞きたいことを考え、整理する。
- 4 6年生にインタビューを行う。
- 5 インタビューで知ったことを基に、自分の考えをまとめる。

振り返る

- 6 話を聞き出すためにどのようなことに気を付けて聞いたかを振り返り、身に付けた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。

（※）

P.14

P.15

「『新しい国語 五』年間指導計画作成資料（東京書籍）」〔令和2（2020）年2月更新〕を基に作成

2(3) 授業改善のポイントについて

◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図を明確にすることで、主体的にインタビューに臨むことができるようにしましょう。

児童が主体的にインタビューに取り組めるようにするためには、自分はどのような情報を求めているのか、聞いた内容をどのように生かそうとしているのか、そのためにこういった情報を相手から引き出そうとしているのかを明確にさせることが大切です。

指導に当たっては、インタビューの準備をする段階で、インタビューを行う目的を確認するようにします。また、これまでに学習したことや、実際にインタビューをした経験などを基に、インタビューを行う際に気を付けることを児童に考えさせ、まとめておくことも考えられます。

【学習活動の例】

インタビューを行う目的や、インタビューを行う際に気を付けることを確認する。

「知りたいことを聞きだそう」東京書籍 5年

【インタビューを行う目的を確認する】



これから、委員会活動が本格的に始まりますね。活動を行うに当たって、自分の委員会について知りたいことや不安に思っていることはありませんか。

私が入る〇〇委員会では、どのような活動をするのかをくわしく知りたいです。



委員会の活動をするときに気を付けていることがあるか、聞いてみたいです。



それでは、自分が入る委員会の6年生にインタビューをして、知りたいことや不安に思っていることなどを質問してみることにしましょう。

※ 児童が知りたいことや不安に思っていることなどを確認することで、インタビューを行うことの必要性を感じ、主体的に学習活動に取り組めるようにします。

【これまでに学習してきたことを基に、インタビューを行う際に気を付けることを確認する】



インタビューするときは、どのようなことに気を付けて質問するとよいでしょうか。国語で学習してきたことや、総合的な学習の時間や校外学習などで行ったインタビューを思い出してみましょう。

インタビューの前に、どのようなことを質問するのか、また、聞いたことをどのようにメモするのかを考えました。



聞きたいことを一方的に質問するのではなく、相手が話したことに合わせて質問を続けられるように意識しました。



※ 児童から、インタビューを行った際に上手くできなかったことや難しかったことなどが出された場合は、よりよいインタビューにつなげるために、改善策を全体で考えさせることなども考えられます。

【留意点】

インタビューの題材を設定する際は、児童が主体的に単元の学習に取り組めるようにするために、児童の身近な話題や興味・関心があることなどから題材を選ぶことも考えられます。

インタビューを行う際は、話し手の目的を意識させることも重要であり、話の目的は何か、自分に伝えたいことは何か、共に考えたいことは何かなどを踏まえて聞き取らせることが大切です。

◇話の展開に沿って、話の内容を十分に聞き取るには、どのような聞き方をすればよいかを考えさせましょう。

児童がインタビューを行う際に、自分が既知っている内容を相手が話したり、自分が予想した回答を相手から得られなかったりすることがあります。このように、思うような回答が得られない場合でも、話の展開に沿って、目的に応じた質問ができるようにすることが大切です。

指導に当たっては、知っていることと聞きたいこととを整理させた上で、インタビューにおける様々な場面を想定し、どのように質問するのかを具体的に考えさせることが有効です。

【学習活動の例】

話を聞く意図や目的を確認するとともに、インタビューで聞きたいことを考え、整理する。

「知りたいことを聞きだそう」東京書籍 5年

【インタビューを行うに当たり、自分の考えを整理する】



インタビューをする前に、委員会について自分が知っていることと、今回のインタビューで聞きたいことをノートに整理してみましょう。

※ 相手の話の内容を十分に聞き取ることができるようにするために、インタビューをする前に自分の考えを整理させます。

【聞きたいことに対して相手の思いを十分に引き出す】



インタビューをしたときに、質問に対して6年生がどのような話をすると思いますか。また、話の内容が予想した通りの回答だった場合は、さらに、どのようなことを聞きますか。

※ 相手がどのような回答をするかを想定し、自分が予想した回答が出た場合には、さらに詳しい内容を聞き出すことができるように、別の質問も準備させるようにします。



インタビューをしたときに、自分が聞きたいことが聞き出せなかったり、相手の思いを十分に引き出すことができなかった場合は、どのようにしたらよいでしょうか。

別の言葉で言い換えるなど、質問の仕方を工夫するとよいと思います。



話の内容をふくらませるための質問を用意しておくのもよいと思います。



※ 相手が、自分の質問の意味を理解していなかったり、聞きたいことに関する回答が得られなかったりした場合に、どのような問い返しをするかを考えさせます。

【留意点】

インタビューを行う際は、状況に応じて聞きたいことを聞けるようにすることが大切です。そのため、事前に自分の考えをもたせたり、自分もっている情報と聞きたいことを整理させたりすることが大切です。

また、相手から思うような回答が引き出せない場合の話の進め方についても想定し、分からないことを別の言い方で問い返したり、相手の話をつなげてさらに詳しく聞いたりすることなどを確認しておくことも有効です。

「言葉の使い方を見直すために、話し合う」

1

松山さんの学級では、自分たちの言葉の使い方を見直すために、立場を決めて話し合うことになりました。次は、そのときの「話し合いの様子の一部」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

司会 自分たちの言葉の使い方を見直すために、今日は「生活の中で使っている言葉はみだれているか」について、三人の代表の人に考えを発表してもらいます。そして、その意見をもとにして、自分はこのから言葉をどう使っていくとよいかについて全員で話し合い、考えていきましょう。それでは田中さんから、発表をお願いします。

田中 ぼくは、言葉はみだれていると思います。調べてみると、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があるということが分かったからです。文化庁の「国語に関する世論調査」では、「役不足」という言葉について、「本人の力量に対して役目が軽すぎること」という本来の意味を選んだ人は四十一・六パーセントでした。半数以上の人は、本来の意味とは異なる使い方をしているようです。

北川 私わたくしも、言葉はみだれていると思います。なぜなら、言葉を省略して話す人が多いからです。例えば、「今年もよろしく願います」を「ことよろ」と言うことがあります。省略すると相手や場に合っていない言葉になったり、意味が分からなくなったりすることがあると思います。

小池 私は、言葉はみだれていないと思います。例えば、「全然」は「全然ない」のように、あとに打ち消しの言葉がくるときに使うことが多いのですが、最近では、「全然いい」という使い方をする人もいます。また、辞書によると、あとにくるのが打ち消しの言葉に限らない時期もあったそうです。このように、時代によって言葉の使われ方は変わるから、今まではちがう使われ方だとしても、言葉がみだれているとは思えないと思います。

司会 ありがとうございます。それぞれの発表に対して質問はありませんか。

★木村 小池さんに質問があります。時代によって使われ方が変わった言葉は、「全然」以外にどのようなものがありますか。

小池 例えば、「見れる」という言葉があると思います。私たちは「見ることができる」という意味で使っていますが、辞書には、本来は「見られる」と言うべきものと書かれていました。

司会 ここまで代表の人に考えを発表してもらいました。田中さんは、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があるから言葉はみだれているという考え、北川さんは、言葉が省略して使われているから言葉はみだれているという考えでした。小池さんは、言葉の使われ方は時代によって変わるものだから、言葉はみだれていないという考えでした。三人の意見について、みなさんはどう考えますか。

金子 田中さんが話したように、ぼくも本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉は確かに多いと思います。これからは、よく使っている言葉でも、疑問ぎもんをもったときは意味を調べてみたいと思います。

青木 本来の意味とは異なる使い方をしていると田中さんは言っていました。そのような使い方をしても自分の思いが相手に伝わることはあると思います。相手の理解を確かめながら言葉を使っていこうと思います。

◇司会 金子さんと青木さんは、これから言葉をどのように使っていきたいかについて話していました。みなさんも、そのことについての自分の考えも話してください。

松山

（話し合いが続く）

一 【話し合いの様子の一部】の★木村さんは、何のために質問をしたと考えられますか。最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 発表の中で自分が聞きのがしたことをもう一度聞くため。
- 2 相手の考えの中で最も伝えたいことをたずねるため。
- 3 相手の考えとその理由のつながりを明らかにするため。
- 4 具体的な例がほかにもあるかを確かめるため。

出題の趣旨 話し合いの参加者として、質問の意図を捉える。

二 【話し合いの様子の一部】の司会は——部のように発言することによって、この話し合いの中でどのような役割を果たそうとしていると考えられますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 話し合うことを明確にするために、三人の立場と理由を整理しようとしている。
- 2 立場を明確にして話し合うために、最もよい考えを選び出そうとしている。
- 3 活発な話し合いにするために、時間や約束を守るように注意しようとしている。
- 4 発言回数に気をつけながら、話し合いを計画的に進めようとしている。

出題の趣旨 計画的に話し合うために、司会の役割について捉える。

三 松山さんは、【話し合いの様子の一部】の□で、自分の考えを話します。あなたが松山さんなら、どのような考えを話しますか。その内容を、次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

- □の金子さんや青木さんのように、代表で発表した北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、その取り上げたことに対してどう考えるのかを書くこと。
- ◇司会が話しているように、「これから言葉をどのように使っていきたいか」について書くこと。
- 八十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

出題の趣旨 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。

(正答例)

・ 北川さんが話したように、わたしも言葉を省略して話す人は確かに多いと思います。これからは、相手や場に合っているかどうかを考えながら、言葉をなるべく省略せずに使っていきたいと思います。

(九十一字)

・ 時代によって言葉の使われ方は変わると小池さんは言っていました。だからこそ、言葉の本来の意味や使い方をきちんと学ぶべきだとぼくは思います。これからは、言葉の本来の使い方を調べて使っていきたいです。

(九十八字)

	栃木県	全国
正答率	33.0%	33.8%
無解答率	6.3%	6.2%

学習指導要領における領域・内容
〔第5学年及び第6学年〕

- A 話すこと・聞くこと
 工 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。
- B 書くこと
 ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

	栃木県	全国
正答率	76.4%	77.5%
無解答率	0.3%	0.6%

	栃木県	全国
正答率	81.7%	82.5%
無解答率	0.2%	0.4%

学習指導要領における領域・内容
〔第5学年及び第6学年〕

- A 話すこと・聞くこと
 オ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。

3(2) 単元計画（例）

ここでは、光村図書と東京書籍の関連する単元計画の例を基に、本資料の関連するページ（※）を示しましたので、各学校における指導計画に照らして活用してください。

「よりよい学校生活のために」 光村図書 5年

たがいの立場を明確にして、話し合おう。

（教科書P.128）

- 1 学習の見通しをもつ。
- 2 学校生活の中から議題を決める。
- 3 自分の立場を明確にするため、考えを書き出す。
- 4 P.130 3 を読み、話し合いのしかたを全体で確認し、進行計画を立てる。
- 5 P.131～132を読んで、話し合いのときに気をつけることを確認する。
- 6 計画に沿ってグループで話し合う。
- 7 話し合ったことをクラスで共有し、話し合いの中でよいと思ったことについて、感想を伝え合う。
- 8 学習を振り返る。

（※）

P.20

P.21

「『国語 五 銀河』年間指導計画例（光村図書）」〔令和元（2019）年10月更新〕を基に作成

「問題を解決するために話し合おう」 東京書籍 5年

意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしよう。

（教科書P.104）

つかむ

- 1 これまでに学習したことや自分たちの普段の話し合いを振り返って、意図を明確にしながらか話し合うという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。

取り組む

- 2 身の回りにある問題から解決したいものを探して、議題を設定する。
- 3 話し合いの計画を立てる。
- 4 意図を明確にして、グループで計画的に話し合う。

振り返る

- 5 どのようなことに気を付けて話し合いを進めたかを振り返り、身に付けた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。

（※）

P.20

P.21

「『新しい国語 五』年間指導計画作成資料（東京書籍）」〔令和2（2020）年2月更新〕を基に作成

3(3) 授業改善のポイントについて

◇話し合いの計画を基に「話し合いの進め方」を考える際に、話し合いの目的や方向性についても検討させるようにしましょう。

5・6年生の話し合いでは、計画的に話し合うことができるように指導します。「計画的に話し合う」ことについて、学習指導要領（平成29年告示）解説では、「話し合いを始める前に、話し合いの内容、順序、時間配分等を事前に検討することに加えて、意見を一つにまとめるために話し合うのか、互いの考えを広げるために話し合うのかといった話し合いの目的や方向性を検討することも含んでいる」と示しています。

指導に当たっては、どのように意見を出し合い、どのように意見をまとめるかなど、「話し合いの進め方」を具体的に考えさせることで、児童が、見通しをもって話し合いに参加できるようにすることが大切です。

【学習活動の例】

計画的に話し合いを進めるために、具体的な話し合いの見通しをもつ。

「問題を解決するために話し合おう」東京書籍 5年



これまでに行った話し合いでは、話し合いを進めるときに、どのようなことで困りましたか。

たくさんの人に意見を出してもらってからまとめたかったのですが、いつも、一部の人からしか意見が出ず、少ない意見からまとめなければいけないことがありました。



なるほど。話し合いでは、多くの人に意見を出してもらいたいですね。では、どのように工夫するとよいでしょうか。教科書のP.107～110の話し合いの例を参考に、意見の出し方やまとめ方について考えてみましょう。

まず、思い付く考えを、それぞれの人がメモ（付箋）に書き出しています。そのメモを出し合いながら、同じ意見ごとに集めています。



そして、同じ意見の集まりに見出しを付けたり、関係する意見の内容を線で結んだりしながら分かりやすくなるように整理しています。



つまり、個人で考える時間を取り、自分の意見をもってから話し合いに入るとよいのですね。メモなどに考えを書き出し、書いたメモを出し合って意見を整理していくと、それぞれの意見を確認しながら話し合いが進められますね。この話し合いの例からは、ほかにも、計画的に話し合いを進めるための工夫が見付けられそうですね。



※ 教科書の例を基に話し合いの進め方を考えさせる際は、意見の出し方やまとめ方の工夫について、気付いたことを具体的に示させるようにすることが大切です。

【留意点】

計画的に話し合えるようにするためには、どのように話し合いを進めていくかということ、話し合いに参加する者全体で共有する必要があります。また、単元全体の学習活動を通して、教師が、折に触れて話し合いの目的を確認していくことも大切です。

話し合いの進め方

- ①問題を確かめる。(五分)
- ②問題の原因を考える。(十分)
- ③解決するために取り組む方法を考える。(十五分)
- ④話し合いをまとめる。(五分)

話し合いの進め方をまとめた板書の例

◇話し合いの例示を活用して考えさせることで、互いの立場や意図を明確にし
ながら話し合いに参加できるようにしましょう。

学習指導要領（平成29年告示）では、司会などの話し合いの役割については、3・4年生で学習することとしています。5・6年生の指導事項では、「互いの立場や意図を明確にしなが
ら、計画的に話し合」うことにより、「考えを広げたりまとめたりすること」が示されています。
そのため、より充実した話し合いが行えるように指導を工夫する必要があります。そこで、教
科書にある話し合いの例などを活用し、話し合いの進め方やそれぞれの役割に応じた発言の内
容などを確認した上で話し合いに臨ませることが大切です。

【学習活動の例】

教科書の例示を基に、話し合いの進め方やそれぞれの役割に応じた発言の内容などを確認す
る。

「問題を解決するために話し合おう」東京書籍 5年



話し合いで、どのように意見を発表するとよいか、教科書P.107～110の
話し合いの例を参考に、それぞれの参加者がどのように意見を発表している
のかについて確認してみましょう。

それぞれの発言の内容を読むと、みんな自分の考えをしっかりと話し
合いに参加していることが分かります。



なるほど。それぞれ、自分の意見を発言していますね。では、自分の考え
をもって話していることが具体的に分かる部分は、どこですか。

※ 例示から気付いたことを発表させる活動を行う際は、児童の発言に対して教師
が適切な価値付けをしたり、児童の不十分な発言に対して補足したりすることで、
よりよい話し合いの進め方について確認しておくことが大切です。

石川さんは、山下さんの発言を受けて、「わたしも、いそがしいことが
原因だと思います。」と、最初に賛成の立場をはっきりさせてから、意見
を発言してます。



互いの立場や意図を明確にしなが
ら話し合いを進められるようにするために、上記の例の
ほかに、以下のような学習活動を行うことも考えられます。

- 〔例〕
- ・教科書の例示を基に、必要な部分を抜き出したり、文章を書き直したりしてまと
めたものを提示して考えさせる。
 - ・教科書の補助教材にある音声資料や映像資料などを活用して考えさせる。
 - ・他教科や総合的な学習の時間、学級活動などで行った話し合いの様子を録画し、
動画を見ながら話し合いを振り返らせる。

【留意点】

話し合いの例示を活用して考えさせる際は、各自が自分の意見をもって参加していることや、
異なる立場からの考えを聞き、意見の基となる理由を尋ね合うことで、互いに考えを広げたり
まとめたりしていることなどを、具体的な発言から捉えさせることが大切です。